

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	通正 使用 標準	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	HPA Press Statement 2007年1 月18日	輸血と関係した新たなvCJD疾患(4例目)が、最近診断され た。この症例は後にvCJDを発症したドナーからの輸血 を受けてから約9年後にvCJDと診断された。同じ供血者 からの輸血は以前に同定された1例とも関係していた。4 例目の患者は以前からvCJDに暴露した可能性を知らさ れていた。4例目のvCJD感染症例により、輸血を介したヒ トの間におけるvCJD感染リスクについての懸念が高まっ ている。4症例は全て、成分輸血に関係したものであり、 血漿分画製剤による治療に関連した症例は今まで報告さ れていない。
												HIV	Vox Sanguinis 2007; 92: 113-120	20名の血友病患者が、1990年初頭以降、韓国で製造され た血液凝固第IX因子の投与を受けてから1~2年後に HIV-1に感染していると診断された。血漿ドナーと血友病 患者で検出されたウイルス間の遺伝子関連性を調べた 結果、両者とも、HIV-1サブタイプBの韓国subcladeに感染 していた。韓国で血漿ドナーの血液から製造された凝固 因子により、少なくとも20例の血友病患者がHIV-1サブタ イプBに感染したことが明らかとなった。
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	J R Soc Interface doi:10.1098/rsif.200 7.0216 Published online	血液由来のvCJDの流行の大きさを探るために感度分析 を行い、公衆衛生的介入の有効性について調査した。数 学的モデルを開発し、悲観的モデリング仮定で評価する と、自己持続的流行が起こるならば2080年までに900例 以内、楽観的仮定では250例以内となった。大規模な又 は自己持続性流行に至るシナリオの可能性はあるが実 現性は低く、輸血を受けたヒトからのドネーション禁止措 置等の公衆衛生的介入が有効である。
												クロストリジウ ム感染	YOMIURI ONLINE (2007年2月22日 読売新聞)	千葉県船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳 代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に 感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告 されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物 の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫症」を発症させる。 同センターは、「気腫菌は人には感染しないというのが これまでの常識だった。詳しい感染経路を調べることが今 後の課題」としている。